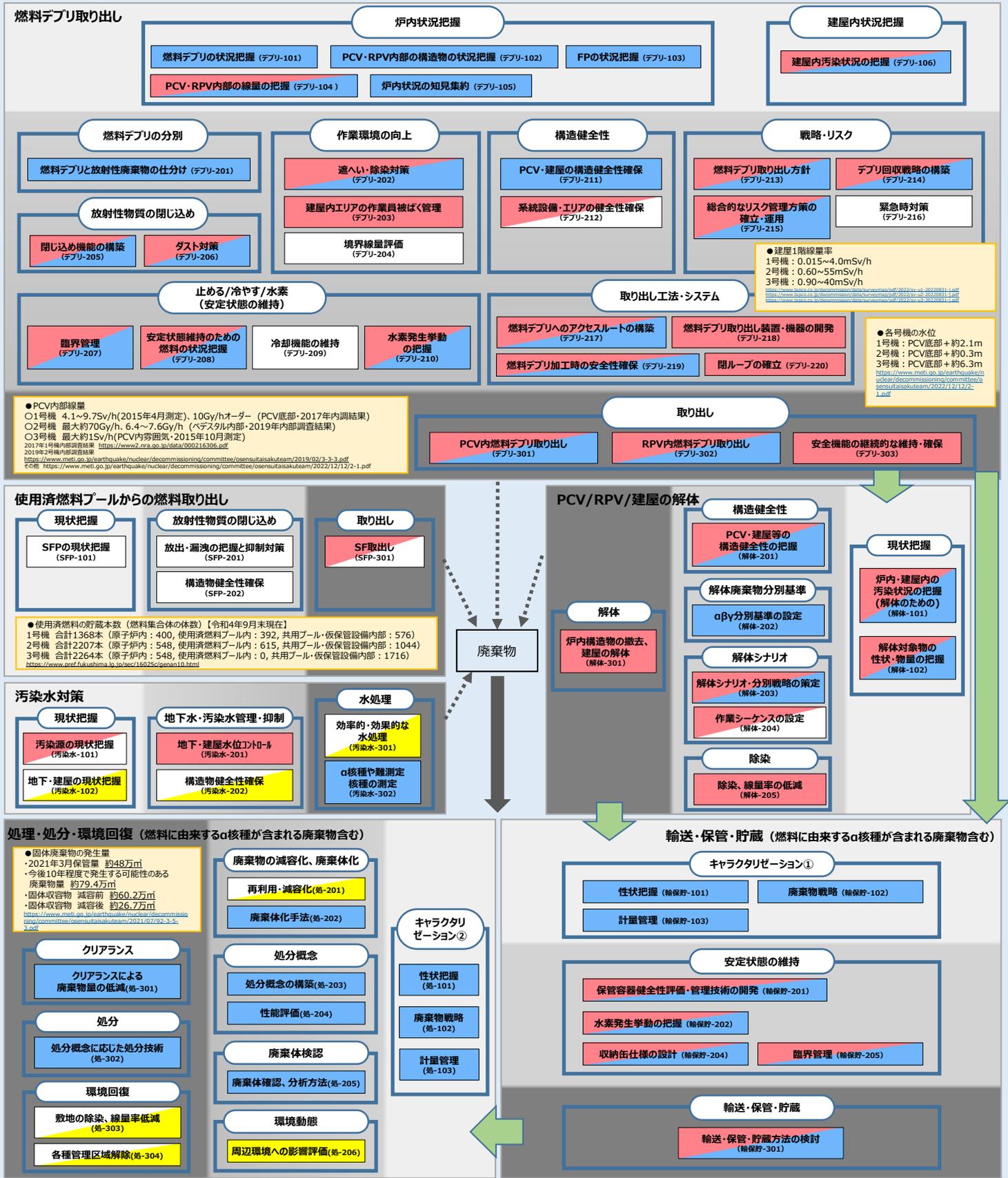
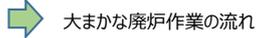
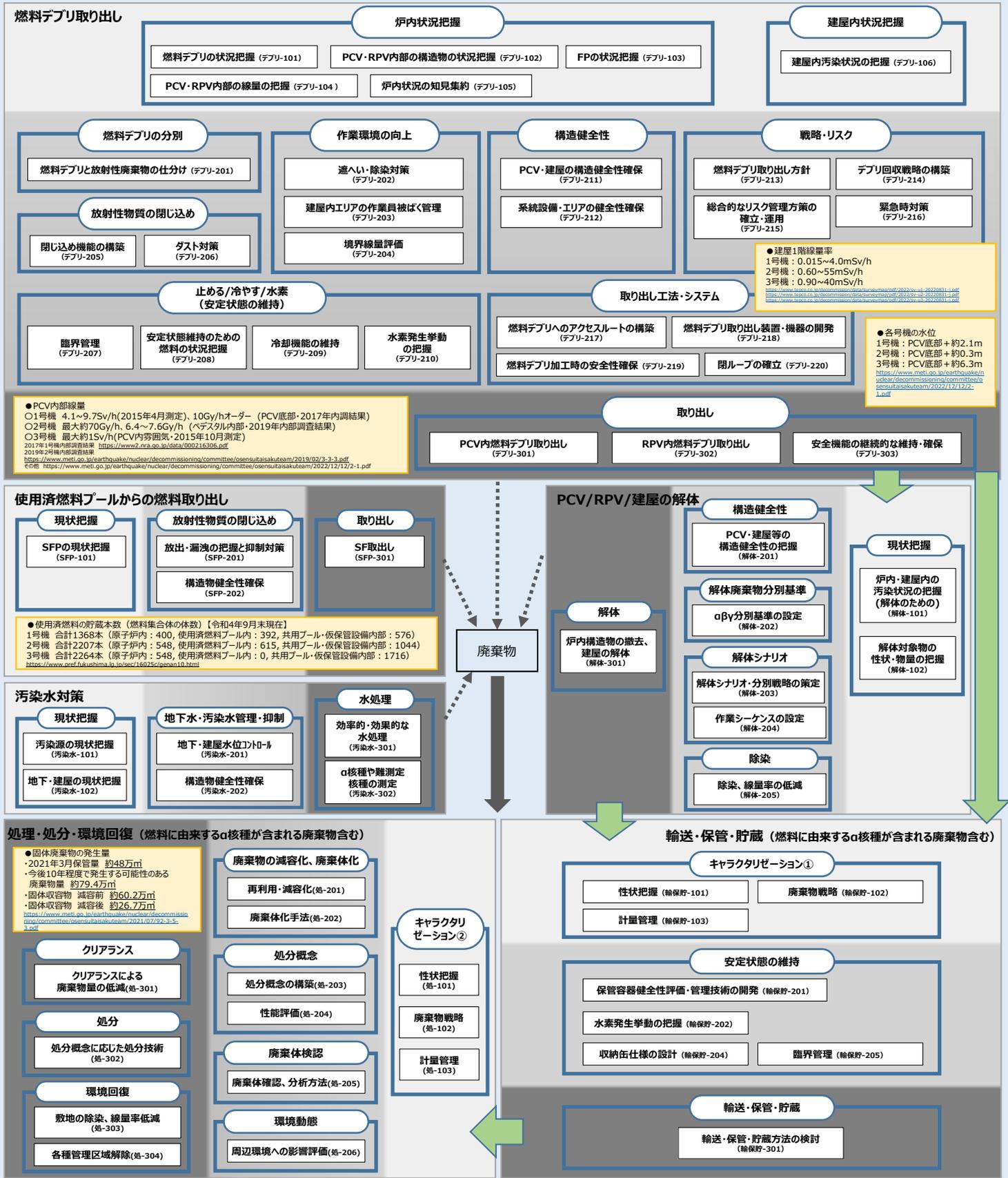


廃炉を合理的に進めるための全体戦略（プロセスの全体最適、リスク管理、経済合理性）





廃炉を合理的に進めるための全体戦略（プロセスの全体最適、リスク管理、経済合理性）



●建屋1階線量率
1号機：0.015~4.0mSv/h
2号機：0.60~55mSv/h
3号機：0.90~40mSv/h

●各号機の水位
1号機：PCV底部+約2.1m
2号機：PCV底部+約0.3m
3号機：PCV底部+約6.3m

●PCV内部線量
O1号機 4.1~9.7Sv/h(2015年4月測定)、10Gy/hオーダー (PCV底部・2017年内調査結果)
O2号機 最大約70Gy/h、6.4~7.6Gy/h (ベスタル内部・2019年内調査結果)
O3号機 最大約1Sv/h(PCV内雰囲気・2015年10月測定)
2017年1号機内部調査結果 <https://www.nra.go.jp/data/000216306.pdf>
2019年2号機内部調査結果 <https://www.msti.go.jp/earthquake/nuclear/decommissioning/committee/osensuitaisakuteam/2019/02/3-3-3.pdf>
その他 <https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/decommissioning/committee/osensuitaisakuteam/2022/12/12/2-1.pdf>

●使用済燃料の貯蔵本数 (燃料集合体の体数)【令和4年9月末現在】
1号機 合計1368本 (原子炉内：400、使用済燃料プール内：392、共用プール・仮保管設備内部：576)
2号機 合計2207本 (原子炉内：548、使用済燃料プール内：615、共用プール・仮保管設備内部：1044)
3号機 合計2264本 (原子炉内：548、使用済燃料プール内：0、共用プール・仮保管設備内部：1716)
<https://www.epcf.fuohima.jp/jp/sec1/6925c/syenan10.html>

●固体廃棄物の発生量
・2021年3月保管量 約48万m³
・今後10年程度で発生する可能性のある廃棄物量 約79.4万m³
・固体収容物 減容前 約60.2万m³
・固体収容物 減容後 約26.7万m³
<https://www.msti.go.jp/earthquake/nuclear/decommissioning/committee/osensuitaisakuteam/2021/07/92-3-5-3.pdf>

技術基盤研究

- 遠隔技術(共-1)
- 可視化技術(共-2)
- 測定・分析技術(共-3)
- 耐放射線性(共-4)
- 標準化(共-5)
- リスク評価(共-6)
- ナレッジマネジメント(共-7)

社会的基盤研究

- 法整備 ○人材育成 ○地域共生
- 情報発信 ○持続可能性の確保
- 労働環境管理